

授業科目 眼疾病学 I

【担当教員名】 阿部 春樹 他		対象学年	2	対象学科	視機
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要・一般目標：GI0】 視覚器の解剖学、生理学を基礎とし臨床重要な疾患の病態を把握し、その検査法、鑑別法、治療法の概要について理解を深める。主な眼疾患の検査所見、最新の治療および予後について学ぶ。眼疾病の基本的な知識の修得を目指す。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	眼瞼				講義
2	涙器				講義
3	結膜				講義
4	角膜				講義
5	強膜				講義
6	水晶体				講義
7	緑内障				講義
8	小テスト				講義
9	ぶどう膜				講義
10	網膜				講義
11	硝子体				講義
12	眼窩				講義
13	眼外傷				講義
14	小テスト				講義
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学第2版	丸尾敏夫 他	文光堂	2011・18,900円+税
		標準眼科学第12版	木下茂 他	医学書院	2013・7,000円+税
参考書					
その他の資料		講義時に随時資料を配布			
【評価方法】 定期試験・小テスト・レポート・授業態度から総合的に評価する			【履修上の留意点】 講義は予習をして臨むこと		